

GISA/GeoAI Seminar 2024'Summer

GeoAIの空間データモデル:理論から応用まで

日時: 2024年7月5日 15:30-20:30(ハンズオン+パネル討論)

主催: 地理情報システム学会/共催: GITA-JAPAN

会場: 慶應義塾大学SFC研究所 みらいのまちをつくる・ラボ(こちら)

費用: 参加無料 測量CPD対応/定員: 先着40名

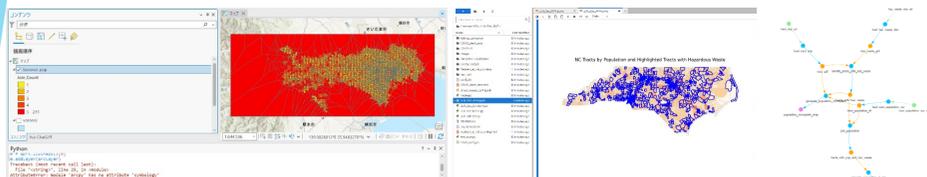


地理空間は人類生存の基盤で、知の源泉でもあります。GeoAIは空間情報に優れるGISと知識処理に優れたAIを融合し、GISに新しいパラダイムをもたらします。本セミナーは好例のハンズオンの後、GeoAIの概念、人流データの基盤に関する議論を発展し、GeoAIの空間データモデルの実態、課題、発展方向を検討します。

ハンズオン: GISをプラットフォームでのGeoAI実践 (15:30-17:30)

モデレーター: 大場章弘 中央大学研究開発機構 機構助教

本ハンズオンは、最新のGeoAI技術を活用して、身近なコンビニの商圈分析を事例に、Addin ChatGPT ArcGIS Pro 3.1を使用し、対話型インターフェースでGeoAIによる地図を生成します。参加者は社外ネットワーク接続可能なパソコン環境とリモートデスクトップクライアントをご用意ください。



Addin ChatGPT ArcGIS Pro 3.1によるGISの自動分析および地図生成体験

最新のGeoAI技術について、Addin ChatGPT ArcGIS Pro 3.1*1を用いてシンプルなコンビニの商圈分析をテーマに、自動的なGIS分析と地図生成方法を学びます。また後半では、前回ハンズオンで試したGeo-LLM*2との連携が可能なGISデータの作成方法についても模索します。GIS技術を学んだことのない初心者の方も奮ってご参加ください。

パネル討論: GeoAIによるGISの空間データモデルの革新 (18:30-20:30)

モデレーター: 巖 網林 慶應義塾大学教授

GISは地理空間情報を構造化し、熟練したGIS技術者に頼って分析・応用に供することになっています。GeoAIは非構造的なビッグデータを深層学習し、高度な空間推論を目指しています。この革新を可能にするために、空間データのモデリングと管理の現状と課題を理論から応用まで、多面的に検討します。

GeoAIに求める空間データモデル	巖 網林	慶應義塾大学教授 GIS学会前会長
道路のデータモデル、現状と理想	鎌田高造	一般財団法人日本デジタル道路地図協会理事長
衛星データ等の空間データのAIモデル化の現状と課題	島崎康信	株式会社パスコ 衛星事業部AIソリューション部 兼研究開発センター研究開発第二グループ
空間ビッグデータから空間AIへ～地盤評価予測への取り組み～	小尾英彰 林 秋博	ジャパンホームシールド株式会社執行役員事業開発本部長 日本スーパーマップ株式会社 代表取締役
GeoAIの空間データとしてのリモートセンシング	小林優介	一般財団法人 リモート・センシング技術センター

*1 Addin ChatGPT ArcGIS Pro 3.1はnicoGISが開発したものです。

*2 LLM-GeoはMr. Huan Ning & Dr. Zhenlong Liによる開発中のGeoAIツール

ここへアクセス→[参加申し込む](#)

or



←このQRコードをスキャンする

お問い合わせ: 地理情報システム学会GeoAI分科会事務局 geoaiwg@gmail.com Facebook: [ここをクリック](#)